

文教大学大学院言語文化研究科修士課程

2024年度第1期入学試験問題

(2023年9月3日実施)

外国語科目（日本語）

問題用紙

受験番号	氏名

文教大学大学院言語文化研究科

2024 年度 1 期入学試験問題

(2023 年 9 月 3 日実施)

外国語科目（日本語）問題用紙

* 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

設問 I. 漢字の読み方と書き方 〈複数解答不可〉

問 1. 次の下線部の読み方をひらがなで書きなさい。

1. 独創性と厳密性
2. 小説の構想を練る
3. 趣旨に合致する
4. 交互作用を検討する
5. 最新の研究成果
6. 文法規則の許容と制約
7. 到達度別のクラス間でデータを比較する
8. 根本的な問題解決のために手掛かりをつかむ
9. 表記の統一を徹底する

問 2. 下線部のひらがなは漢字に、漢字はひらがなに直して書きなさい。

1. にんしきの欠如が問題だ。
2. 介護の仕事にじゅうじしている。
3. 思考力をきたえるためにかなりの時間を費やした。
4. 期日に余裕を持ってレポートを提出するつもりだ。
5. 好き嫌いの克服に励んでいる。
6. 身振りと手振りによるコミュニケーションは最善の方法と言えるだろうか。
7. 業務が停滞する恐れがあったため責任者に判断をまかせた。
8. 人間のこんていにあるものは、善か悪か。
9. 暑い夏を涼しく過ごすための工夫をほどこす。

設問Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は、欧米の文化を「自己中心の文化」、日本の文化を「間柄の文化」と名づけている。

日本の学校教育でいくら自己主張のスキルを高める教育を[①する]ところで、子どもや若者が自己主張が苦手なままなのは、そもそも日本の文化には自己主張が馴染まないからだ。

自己主張する心の構えは、もともと欧米流の自己中心の文化のものであり、間柄の文化のものではない。そこを教育界を動かす人たちは見逃している。

欧米などの自己中心の文化では、自分が思うことを思う存分主張すればよい。何の遠慮もいらない。ある事柄を持ち出すかどうかは、自分自身がどうしたいのか、自分にとって有利かどうかで判断すればよい。＜ ② ＞基準は自分自身がどうしたいかにある。

それに対して、日本のような間柄の文化では、一方的な自己主張は避けなければならない。ある事柄を持ち出すかどうかは、相手や周りの人の気持ちや立場を配慮して判断することになる。基準は自分自身がどうしたいかにあるのではなく、相手と気まずくならずうまくやっていけるかどうかにある。

謝罪するかどうか、自己中心の文化と間柄の文化では、基準が違ってくる。

欧米などの自己中心の文化では、謝るかどうかは「自分が悪いかどうか」で決まる。自分が悪いとき、自分に責任があるときは謝る。悪いのは自分ではない、自分には責任はないというようなときは謝らない。単純明快だが、それは自分だけが基準だからだ。

一方、日本のような間柄の文化では、自分が悪いわけではなくても、相手の気持ちを配慮して謝るということがある。だれにも落ち度がないからだれも謝らないとなると、被害を受けた人や今実際に[③困る]人の気持ちが救われないと感じれば、自分に責任がなくても、「すみません」と容易に謝る。

間柄の文化では、単に「自分が悪いかどうか」を基準に謝るかどうかを決めるのではない。間柄を大切にするために、自分に非がない場合でも、相手の気持ちや立場に想像力を働かせ、思いやりの気持ちから謝ることもある。

そこには、自己中心の文化にはみられない二つの心理が働いている。

ひとつは、思いやりによって④ホッペを棚上げして謝罪し、相手の気持ちをこれ以上傷つけないようにしようとする心理、＜ ⑤ ＞相手の気持ちに少しでも救いを与えたいという心理である。

もうひとつは、自分に非がないことをどこまでも主張するのは見苦しいと感じる心理、言いかえれば、自己正当化にこだわるのはみっともないし、大人げない^{いじり}と感じる心理である。

自分の視点からしかものを見ることがなく、自分の視点に凝り固まりがちな欧米人には、

このような意味での謝罪は理解できないに違いない。

だが、間柄の文化では、⑥自分の視点を絶対化しない。相手には相手の視点があり、それを尊重しなければと思えば、自分の視点からの自己主張にこだわることはできなくなる。

自分には何も落ち度はないけれど、相手が困っているのはわかるし、腹を立てるのもわかるというような場合、自分には責任がないからといって開き直るのは大人げないし、思いやりに欠けると感じる。

そこで、相手の気持ちに救いを与える意味で、自分に非がなくても容易に謝る。それが間柄の文化のもつやさしさと言える。

人身事故で電車が遅れているときなど、困惑し興奮して文句を言ってくる乗客に対して、自分にはまったく責任がないのに「すみません」と丁重に頭を下げる駅員も、このような思いやりの心理によって謝っているのである。

自分中心の視点から自己主張することがない間柄の文化の特徴は、曖昧な表現の仕方にも表れている。

日本語を学ぶ外国人が戸惑うのは、日本語の曖昧表現だと言われる。実際に私も、日本語が堪能な外国人たちから、

「母国語を日本語に訳すのがとても難しい。曖昧な表現が多いから」と言われたりする。

欧米コンプレックス^{注2)}が強く、欧米基準でものを考えようとする日本人は、欧米文化が何でも正しくて、日本は遅れてる、ズレてると思いがちなため、日本語の曖昧表現にも批判的で、日本人も欧米人のようにハッキリものを言うべきだなどと言う。

だが、そのような人たちは、日本語の婉曲表現^{えんきょく}のもつ意味をわかっていない。そもそも間柄の文化について何もわかっていない。

日本語の婉曲表現は、相手を尊重し、自分の考えや[⑦感じる]方を押しつけ^{注3)}ようとしないやさしい心の反映とも言えるのである。

自己主張をするようになったと言われる今どきの若者でさえ、「…とか」「…っぽい」「…かも」「…みたい」など、ハッキリ断言せずに「ぼかす表現」をく⑧>使っている（身近な関係でもその表現を使うのは、ちょっと淋^{さび}しくないかと思うが）。

ハッキリ自己主張するようにといくら教育しても、若者たちがこのようにハッキリものを言わないのも、もともと間柄の文化には自分の意見を押しつけないやさしさがあるからだ。

ハッキリした物言いは、押しつけになりやすい。だからハッキリ言うのには抵抗があり、曖昧な表現を好むのである。

（榎本博明（2016）『「やさしさ」過剰社会 人を傷つけてはいけぬのか』より、一部改変）

注1) 大人げない：考え方や行動が子どもっぽく幼稚で、大人らしくないこと。

注2) コンプレックス：自分が他の人よりも劣っているという感情、劣等感。

注3) 押しつける：自分の考えや価値観を一方的に主張して相手に嫌なことを負担させること。

問1. [①する] [③困る] [⑦感じる]の動詞をそれぞれ適当な形に変えなさい。

問2. <②> <⑤> <⑧>に入れるのに適切なことばを、一つ選んで記号を書きなさい。

② a. とかく b. まして c. ひいては d. あくまでも

⑤ a. いわば b. さほど c. あいにく d. もはや

⑧ a. とうてい b. きわめて c. しきりに d. さも

問3. 下線部④について、「ホンネを棚上げ」するとはどのような気持ちをどうすることだと筆者は述べていますか。本文中の言葉を使って答えなさい。

問4. 下線部⑥について、「自分の視点を絶対化」するということばと同じような意味のことばを本文中から3つ挙げなさい。

問5. 「間柄の文化」の特徴を本文から2つ以上挙げなさい。

問6. 本文の内容に当てはまるものに○、当てはまらないものに×を書きなさい。

- a. 日本の子どもや若者が自己主張できないのは教育の仕方の問題があるからだ。
- b. 欧米では自分に落ち度があると自覚すれば謝るので基準が自分にあるということだ。
- c. 日本語を学ぶ外国人は、日本人も欧米人のようにハッキリものを言うべきだと感じている。
- d. 今どきの若者が「ぼかす表現」を使うのは、自己主張しない文化の影響である。
- e. 今どきの若者は、「ぼかす表現」を使って自己主張さえするようになった。

設問Ⅲ. 次の文の誤りと思う箇所に線を引き、例にならって書き直しなさい。

(例) 駅からタクシーに乗りて大学まで来ました。

→ 乗って

1. 最近、駅前に新しいコーヒーショップができるらしいよ。
2. 大学に出たら、出世できるだろうと思っていた。
3. 出かけようとしたばかりのときに、雨が降り出した。
4. 一番大切なのは、自分を信じてあきらめないことだ。
5. 1年前から就職活動をしているが、なかなかいい仕事が見つけない。
6. わたしはこの案を賛成しません。
7. 山田さんにはたいへん世話になったので、なにかお礼をせずにはおかない。
8. 彼には生まれてながらに、音楽の才能が備わっている。
9. 申し訳ございません。この件について、私にはわかりかねません。
10. 暑いべきだ。冷房ではなく、暖房がついているよ。

設問Ⅳ. 作文

最近の世界のニュース（日本とあなたの出身国以外のニュース）を挙げて、あなたが考えたことを200字程度で書きなさい。ダ・デアル体を用いること。